お誘いのことば

北海道新英研では近年、ESD（持続発展教育）に焦点を当てて研修を進めています。英語の授業の中で地球的課題を扱うことは、英語の学力の伸長にどのように影響を与えてくれるのでしょうか。本集会で共に考えてみませんか。

Hokkaido Shin-Eiken has recently been focusing on ESD (Education for Sustainable Development). In this conference, we are going to have some discussion on how students' language (English) proficiency develops in tandem with their social and environmental consciousness in learning global issues in the English classroom.

実践報告

教科書と文法と平和教育

海老名 浩嗣　弟子屈町立川湯中学校

最近のベネッセの調査で、中学校での英語嫌いが数学を抜いて１位となりました。生徒が最もわからないとしているその原因は「文法がわからない」が一番の理由。教科書によって違いはありますが、ますます文法を軽視する傾向にあります。文法を含めた教科書の内容がどのようになっているのか、その分析を通して、英語教師である我々がなすべきことを考えていきます。

私の授業改善

倉 照彦　利尻町立沓形中学校

島にいる子供達に、島でも自己実現できる力をつけてほしい。だから、学力を身につけてほしい。自分は４つの点を意識して授業改善をしています。大きな発表は出来ませんが、地道な実践発表です。

５年ぶりの授業～その支えとなっているもの

野村 健治　北海道札幌東商業高校

今年度4月に今の職場に赴任し数カ月が過ぎました。5年間現場を離れていましたが、私にとって、現場復帰に向けての覚悟とは、授業をすることへの覚悟とほぼ同義語と言えるほど、「授業」に対しては緊張感を持って4月を迎えました。私のこの数カ月についてレポートします。

基調講演 Keynote Speech & Workshop

Teaching Global Issues: What, Why, and How

Tim Grose

Recently we hear much about ‘globalization’ and ‘the global village’ and, in Japan, we are aware that we, too, have a role to play as global citizens because we know that global issues and environmental problems do not recognize national boundaries. But in order to participate in the international community we have to be able to communicate effectively in English. This means adapting our attitudes towards teaching and learning English. This lecture will demonstrate some ways in which we can face the challenges of teaching young learners about our world in a pedagogically appropriate way.

講師プロフィール Speaker Bio

Tim Grose was born in the UK in 1951. He graduated from the University of Keele in 1973. In 1976, he gained a further qualification in TEFL from International House, London. He taught English as a Foreign Language in the UK, Hong Kong and Saudi Arabia as well as Japan. He joined the staff of Sapporo Gakuin University in 1985 where he worked until his retirement in March, 2013. He is now active in Global Issues in Language Education, a research association connected to the Japan Association of Language Teachers. He is the author of the textbook, ‘Global Issues in English’.

第47回全道
外国語教育
研究集会

未来につながる英語の教室を！

～グローカリズムの時代における英語教育～

English Classroom for Sustainable Development: Think and Act Glocally

主催　北海道新英語教育研究会

日　時　２０１４年１月１１日（土）
９：３０～１６：３０

会　場　市立札幌大通高校
札幌市中央区北２条西１１丁目
011-251-0229

会　費　会員２０００円・一般２５００円

お申し込み・お問い合わせ
杉山譲司 jojisugiyama@gmail.com
☎011-251-0229/fax 011-261-1449（大通高）

第 47 回全道外国語教育研究集会参加要項

● タイムテーブル（予定）　**2014 年 1 月 11 日（土）**

9:00　9:30　10:00　12:00　13:00　16:00 16:30　18:30

受付	開会行事	基調講演	昼食休憩	中学校・高校からの実践報告	閉会行事	会員年次総会	参加者懇親会

● 参加費　会員 2,000 円　一般 2,500 円

- 当日研究会会場受付にてお支払いください。
- 新入会員の受付もいたします。当日入会の場合も会員での参加費となります。

＊年会費 3000 円で①研究会（年２回）の会員価格での参加　②年４号の会報

● 申し込み先

- 郵送・FAX の場合　下記「申込票」に必要事項をご記入の上、以下までお送りください。

〒062-0002 札幌市中央区北２条西 11 丁目 市立札幌大通高校 杉山譲司宛
FAX　０１１−２６１−１４４９

- E メールの場合　下記「申込票」にある項目をメールに記載して、以下までお送りください。

杉山譲司　jojisugiyama@gmail.com

● 年次総会出席のお願い

研究会終了後、北海道新英研年次総会を行ないます。会員の方の方はご出席ください。

● 参加者懇親会

- 時間　１８：３０から２時間程度
- 会費　3,000 円（予定）
- 会場　未定

＊詳細は当日受付にてご案内いたします。是非、ご参加ください。

● 会場のご案内

市立札幌大通高校

札幌市中央区北２条西 11 丁目

※上履きは不要です。

◁　地下鉄東西線「西 11 丁目」駅から徒歩５分

◁　JR「札幌」駅から徒歩１８分

◁　市電「中央区役所前」電停から徒歩７分

※ 公共の交通機関でお越しください。お車の場合は近隣の有料民間駐車場などをご利用ください。

※ 昼食は近隣の飲食店、コンビニエンストア等を利用することができます。

---------- 第 47 回全道外国語教育研究集会申込票（郵送・FAX 用）----------

北海道新英語教育研究会（札幌大通高校・杉山譲司）宛

ふりがな	どちらかに○
氏名	会員　・　一般 （新規入会希望者含む）
住所 〒	電話 メールアドレス
勤務先（学校名等）	懇親会参加（どちらかに○） 有　・　無